

第3学年 道徳科学習指導案

日 時 平成29年11月 2日(木) 3校時
児 童 3年1組 男15名 女 9名 計24名
授業者 薄衣 浩子

- 1 主題名 心のうつくしさ (D 感動、畏敬の念)
- 2 教材名 「幸福の王子」 (「みんなのどうとく3年 岩手県版」学研)

3 主題設定の理由

(1) 道徳的価値について

新学習指導要領第3学年及び第4学年の内容の「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の「感動、畏敬の念」は「美しいものや気高いものに感動する心をもつこと」とある。これは、美しいものや崇高なもの、人間の力を超えたものとの関わりにおいて、それらに感動する心や畏敬の念をもつことに関する内容項目である。この内容項目は、次のように発展していく。

低学年 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。	中学年 美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	高学年 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	中学校 美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。
-------------------------------	--------------------------------	---	---

人間は、美しいものや人間の力を超えたものに畏敬の念をもつことで、自らの生き方について考えを深めてきた。しかし、ものや情報が氾濫し、人間関係が希薄化している現代社会においては、身の回りの美しいものや気高いものを感じ取りにくくなってしまっている。だからこそ、児童の心の中に、人間の力を超えたものや美しいもの、気高いものに気づき、素直に感動する心を育てることが一層重要となる。

(2) 児童について

児童は、虹や夕焼けなどの自然現象を見たときに、素直にその美しさを言葉で言い表している。また、音楽鑑賞をしたときには、歌声や楽器の音色の美しさを感じ取ることもできている。しかし、日常生活において「美しいもの」として認識しているのは、自然現象であったり人工的に作られた物であったり、「目に見えるもの」であることが多い。

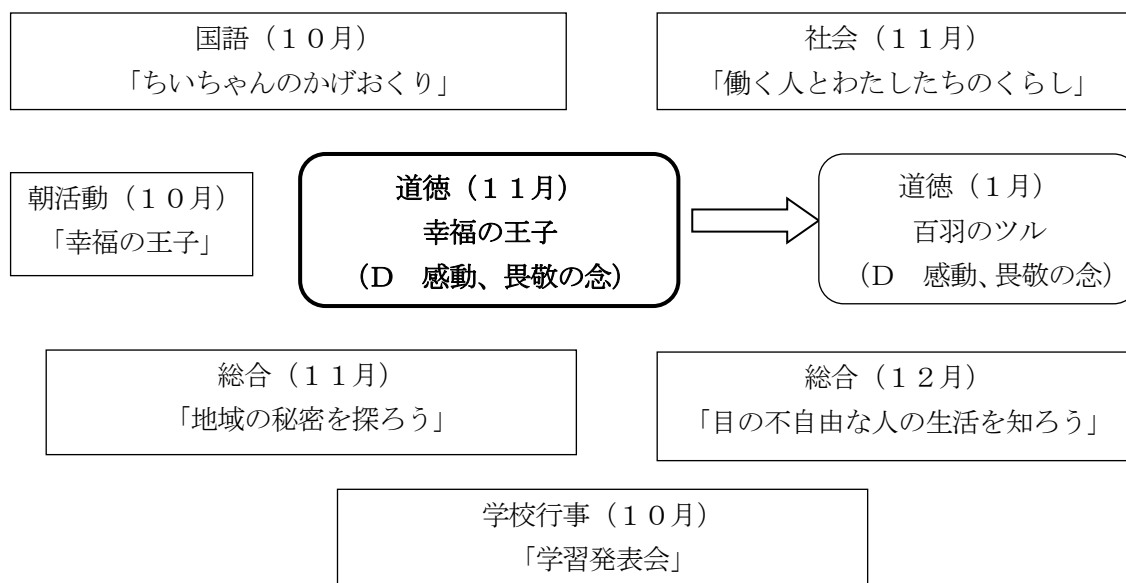
この実態をふまえ、目に見える美しいものだけでなく、人間の行為にも耳目には触れない気高いものがあることに気づかせたり、それに触れた感動がどこからくるのかを考えさせたりすることは極めて重要であると考え。人の心の美しさについて考えることによって、豊かな感受性をより確かなものにし、さらには、自分もそうありたいと願望する美しい心を養うことができると考える。

(3) 教材について

本教材は、銅像となった王子が町の人々の悲しい出来事を知り、つばめに自分の体に付いている宝石を届けさせるが、つばめも自分も命がつかせてしまうという話である。町の人々の苦しみを自分のこととして思い悩み、宝石を惜しげもなく人々に分け与える王子の心情や、人々を思う王子の心に打たれて最後まで王子に尽くそうとするつばめの姿が、感動的に描かれている。

王子が求める幸せとは何かを取り上げ、王子の心の何が美しいのかを明らかにすることによって、内面的な美しさ、尊さを考えさせることに適した教材であると考えられる。

4 主な各教科等との関連



5 本時の指導

(1) ねらい

つばめと王子に共通する心の美しさを考えさせ、他者のために力を尽くそうとする心の尊さを捉えさせることを通して、美しく気高い心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。

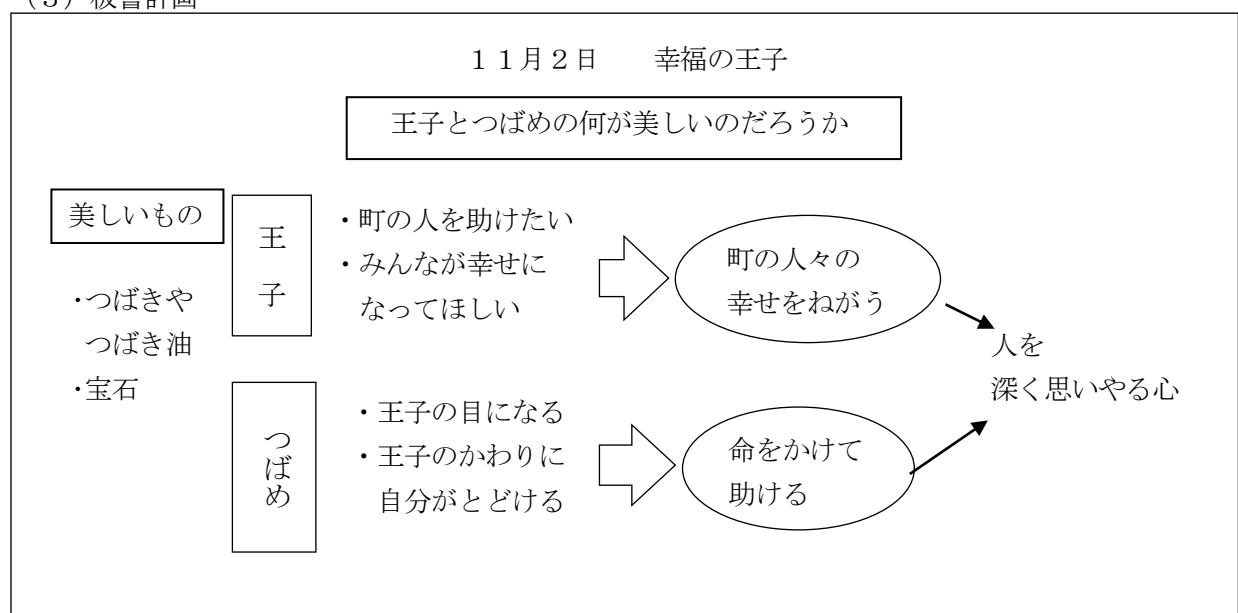
(2) 展開

階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 3分	1 教材や価値への関心を高め、課題意識をもつ。 ・ 前に書いた作文から、何を美しいと思うかということについて、いくつかを紹介する。	・ つばきやつばき油 ・ 宝石	・ 共感するものについて挙手させたり、具体的にどういうことが美しいと思うか発表させたりすることで、価値への方向付けを図る。

展 開 前 段	<p>2 教材を基に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材のあらすじを確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・時間の都合上、範読はしない。王子がしたこととつばめがしたこと、会話文などを確認する。
	<p style="text-align: center;">王子とつばめの何が美しいのだろうか。</p>		
	<p>○銅像になった王子は、どんなことを思って泣いていたのでしょうか。</p> <p>○つばめはどんなことを思ったから、王子のそばにいることを決心したのでしょうか。</p> <p>◎つばめと王子の何が美しいのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人々は苦しい生活をしているが、自分には何もできない。 ・なんとかして助けてあげたい。 ・目が見えなくなった王子の代わりに、街の人々の様子を王子に教えたい。 ・王子を独りぼっちにするわけにはいかない。 ・王子のためになることを自分がしてあげたい。 ・命をかけてまでも、王子のためになることをした心が美しい。 ・自分の体がぼろぼろになっても、町の人々のためになることをした心が美しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の苦しきや悲しさを自分のこととして捉えている王子の気持ちを押さえる。 ・早く仲間の元へ旅立ちたかったつばめが、王子の町の人を思う気持ちに感化され、王子のために尽くすことを決心したことを押さえる。 ・学習班で考えを交流し、全体場で話合う。 ・二人に共通する、他者を思う心の尊さについて考えさせる。
<p>30分</p>	<p>【効果的な中心発問の設定】</p> <p>○人物を問う（テーマ発問）</p>	<p>【話し合いの工夫】</p> <p>○学習形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣同士や班（3人組） <p>○学習の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを言い合う。 	
	<p>評価の方法 話し合いの観察、発言</p> <p>評価の視点 つばめと王子の、他者を思いやる気持ちを捉えることができたか。</p>		

展 開 後 段	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○今日の学習をして、「心の美しさ」について気づいたことや考えたことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことより、誰かのためになることに力をつくすことは、すごいことだと思う。人を思いやる心は、美しいと思う。 ・私は王子のような行動をすることはできないけれども、王子のように人のことを考えられるようになりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「心が美しい」とはどういうことかについて、授業を通して学んだことや考えたことを詳しく書くことを指示する。
	<p>【自己を見つめる発問の設定】</p> <p>○具体的な価値（内容項目）を入れて問う発問</p>		
7 分	<p>評価の方法 うみねこノートの記述</p> <p>評価の視点 授業を通して捉えた、美しい心とは何かということについて、自分の考えを書きまとめることができたか。</p>		
終 末	<p>4 今後の実践につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数人のノートを紹介する。 ・事前に児童が書いた作文についても紹介する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が「美しいもの」として「やさしい心」を題材に書いた作文を紹介する。
5 分			

(3) 板書計画



(4) 教材分析図

教材名 「幸福の王子」 (「みんなのどうとく3年 岩手県版」学研)

ねらい つばめと王子に共通する心の美しさを考えさせ、他者のために力を尽くそうとする心の尊さを捉えさせることを通して、美しく気高い心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。

場面	銅像になった王子は、つばめにルビーを届けることを頼む。	王子は、つばめに宝石や金箔を町の人々に届けることを頼む。	つばめは死に、王子の銅像は捨てられる。
状況	<ul style="list-style-type: none"> 町の人々は、王子の銅像を誇りにしている。 町の中の悲しい出来事を知った王子は、涙を流す。 王子に頼まれたつばめは、貧しい親子にルビーを届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 王子は、つばめに、自分の目のサファイアを抜き取って女の子に届けるよう頼む。 つばめは王子の目の代わりにすることを決意する。 つばめが金箔を届ける度に、王子の像はみにくくなっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 雪が降り始め、つばめの命はつきる。 王子の心臓が真っ二つにわれる。 町の人々は、王子の像を捨てる。 天使が「町の中で最も美しい物」として王子の心臓とつばめの亡骸を選ぶ。
登場人物の心の動き	<pre> graph LR subgraph Prince P1[王子] --- P2[悲しみ (人々に対して)] P2 --- P3[幸せを願う] P3 --- P4[一晩だけ (つばめに対して)] P4 --- P5[あと一晩だけ届けてほしい] P5 --- P6[やっと南の島に行くんだね] end subgraph Bluebird B1[つばめ] --- B2[なぜ泣いているの] B2 --- B3[一晩だけなら] B3 --- B4[心も体も温かい] B4 --- B5[王子様の目が見えなくなってしまった] B5 --- B6[これからは自分が王子の目の代わりに] B6 --- B7[ずっと王子のそばで眠ることにしました] end </pre>		